

水方地點ノ説明

順位一、〇一五 用水ノ關係ハ小代川ニ一〇箇所總計約一八個ヲ引水シテ四一町一反歩ノ水田ヲ灌漑シ湯舟川ニハ七箇所約一六個ヲ引用シテ一四町四反歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアリ本地點ノ利用ニ際シテハ前者ヲ六個後者ヲ三個以内ニ限定シ分與スルノ要アリ。但シ順位二五九測水所ハ右用水ノ取入口ヨリ下流ニ設置セシヲ以テ其ノ流量全部ヲ利用シ得ヘキモ水路ノ構造ハ利用水量ノ外ニ上記灌漑用水量ヲモ併セ通過セシメ得ルモノタルヲ要ス

第九章 千代川水系

第一節 概説

地形 本流域ハ因幡ノ最東部ニ位シ八頭郡ノ全部ト岩見氣高兩郡ノ一部ニ跨リ面積七五方里ヲ占ム。北ハ日本海ニ臨ミ南ニ中國山脈ヲ負ヒテ高ク其ノ中央ヨリ稍東ニ寄りテ立テル沖ノ山(三一九米)ハ本川ノ水源タリ沖ノ山ノ西面ニ發シテ北流スルヲ千代川ト云ヒ其ノ東面ニ發シテト相竝流スルヲ八東川ト稱ス其ノ分水嶺ハ沖ノ山ヨリ

北ニ分レ東山(三三八三米)ヨリ西北ニ轉シ流域ノ略中央ヲル國英村ニ至リテ低夷シ二川ハ茲ニ會シテ北流日本海ニ注ク沖ノ山ヨリ三國山(二二五二米)ニ至ル連嶺ハ千代川ノ南部流域ヲ限リテ美作ト境シ其ノ支脈ハ東北ニ走リテ本流域ノ西部ヲ劃ス其ノ三國山附近ハ稍急峻ナル山地ニシテ千代川ノ左岸支流ナル佐治川、曳田川ノ水源タリ又沖ノ山ヨリ戸倉峠(八六一米)ニ至ル連嶺ハ八東川流域ノ南ヲ劃シテ播磨ト境シ北ニ走リ但馬國境ニ至リテ水ノ山(一、五一〇米)扇ノ山(三、三一〇米)等ヲ崛起ス折落川ハ播磨國界ニ來見野川ハ但馬國界ニ發源シ共ニ八東川ノ右岸ニ合流ス。本支川ノ上流部ハ稍高峻ナル連嶺ヲ成セルモ漸次北方ニ低下シ中流以下田野頓ニ展開ス

地質 千代田川流域ハ概ネ花崗岩ヨリ成リ沿岸低地ニ古生層ヲ見ル。八東川流域ハ西分水界ニ花崗岩東分水界ニ火山岩ヲ露出シ沿川一帯ハ古生層ナリ

林野狀態 森林狀態ノ良好ナルハ本川及支川ノ水源地ヲ占ムル潤葉樹林ニシテ就中沖ノ山、東山、三國山、扇ノ山水ノ山等ニハ總計約八〇方里ノ官林散在シ權ヲ主トセル老樹ハ鬱蒼トシテ繁茂セリ。針葉樹林ハ千代川ノ上流ナル山形、山郷ノ二村及八東川ノ上流ナル池田村ノ植林地ニシ

テ其ニ杉、檜ノ良林ニ富ム。其ノ他ハ概ネ幼齡粗雜ナル雜木林ニシテ中流以下原野裸地多ク其ノ狀態不良ナリ。耕地ハ八東川ニ多ク主トシテ水田ナリ

地目面積表

河川名	地目		山林地		合計
	耕地	原野	針葉樹林	潤葉樹林	
千代川 (古川ノ源流所以上)	面積(方里)	一〇〇	〇	一〇	一一〇
	同 百分率	五五	二五	一	一〇〇
八東川 (地盤入口以上)	面積(方里)	一五	〇	一	一六
	同 百分率	六五	〇	一	一〇〇
同 (千代川合流所以上)	面積(方里)	一五	一〇	一	二六
	同 百分率	三三	三三	一	一〇〇

氣象狀態

雨量ハ下流鳥取附近ニテ一九〇〇耗内外ヲ保テ山間部ニ至ルニ從ヒ漸次ニ之ヲ減少シ智頭町附近ニテ一、六〇〇耗若櫻町附近ニテ一、八〇〇耗内外ヲ示シ分水嶺附近ハ最小一、五〇〇耗内外ナリ。氣温ハ下流部ニテ平均一五度内外ニシテ山間部ニ至リ漸次低下シ一三度以下トナル

第二節 千代川

一、河川狀況 本川ハ上流ヲ北股川ト稱シ水源ヲ沖ノ山

ニ發シテ山形村地方ヲ西北ニ向ヒ芦津ヨリ西南ニ折レ郷原ニテ左支流本谷川ト合シ千代川トナル川ハ之ヨリ西ニ向ヒ智頭町ニテ土師、新見ノ二川ヲ容レ北方ニ轉シ社村ニ至リテ左支安藏川ヲ合シ用ケ瀬村ニ入りテ左支佐治川ヲ合セ曳田村ニ至リテ左支曳田川ヲ容レ尙北流シテ國英村ニ至リ八東川ニ合ス。此ノ間流路約一里流域面積三〇四〇方里トス

北股川ハ流域面積三五方里ノ小流ナルモ兩岸ハ概ネ斷崖ヲナシ屈曲多ク急流ニシテ芦津以下勾配約二〇分ノ一ヲ有シ河床ハ概ネ岩盤ヨリ成ル

千代川ハ沿岸諸所ニ深溪ヲ成セルモ概シテ谷稍開ケ岸低ク兩岸ノ山勢緩ニシテ流路ノ屈曲著シカラス河床概ネ岩盤多シ而シテ流下勾配ハ中流社村地内ニ於テ稍急ナルモ上流部下流部ハ比較的緩ニシテ其ノ平均約一三〇分ノ一ナリ

兩岸ノ地盤ハ一般ニ良好ニシテ出水ニ際シテハ洪水位低ク河床ノ移動變化スルコト寡クシテ曳田川合流點以上全川ヲ水方地點トシテ利用スルコトヲ得

流量ハ一般ニ夏季最濁水ヲ來シ秋季モ稍濁水ニ近ク冬季ハ概ネ平水ヲ保チ春季ニ高水多シ而シテ最大洪水ハ夏

千代川流量表

關係用水二箇所アリ其ノ期間ハ毎年四月中旬ヨリ九月中旬迄ニシテ引用水量統計四個ナリ

順位	番順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量					
					年次	最大	平水	低水	濁水	最小	最大	平水	低水	濁水
二六〇	五	千代川	鳥取縣八頭郡社村古用ヶ瀬	一七五	大正八年 四、四〇〇	三六九	一五五	一六一	一五	三三六	一五三	二・二	九三	九〇
					大正九年 四、三七〇	三五二	一五五	一三三	一三	三三六	一五三	二・二	九三	九〇
					大正十年 八、三七〇	四三三	一四〇	一六六	一六	四六六	二四七	一七三	八八	六六
					大正十一年 八、九二〇	三五二	一四〇	一六六	一三	五〇七	二〇〇	一七三	一〇六	六六
					平均	三五二	一四〇	一六六	一三	二〇〇	一四三	一七三	九六	六九

季六七月頃ニ發生スルヲ普通トス

三、水利及治水 沿岸ニ耕地比較的多ク之ニ使用セラルル水量亦稍多キカ如キモ全流量ニ比シ少ナケレハ大ナル影響ハナカルヘシ

毎年九月ヨリ翌年五月ニ至ル間ニ於テ北股川本谷川ヨリ伐出セル木材ヲ管流シ郷原以下筏幅四尺長サ三〇間内外トナシ鳥取市ニ流送スルモノアルモ本川ハ河床荒ク木材ヲ損傷スルコト多キカ故ニ大部分ハ陸送セラレ河川ヲ利用スルモノハ至テ少量ナリ。漁業ハ鮎ヲ主トシ其ノ産額稍多シ。而シテ悪水ナク舟楫ノ通スルハ水力利用ニ屬スル區域以下ナリ

本川ニハ許可水力地點甚タ多シ即チ智頭町ヨリ上流本

川及支流北股川ニハ山陽水力電氣株式會社ニ屬スル地點四其ノ下流樟原川中間ニハ鳥取電燈株式會社ニ屬スル發電所ニヲ有ス

三、水力地點 選定水力地點數三其ノ平水時ニ於ケル馬力數八四七五ニシテ其ノ中一箇地點ハ本調査期間中ニ於テ水利使用ヲ許可セラレタルヲ以テ將來利用開發シ得ヘキモノハ二地點、六八八馬力ナリ。今之ニ許可水力地點ヲ加算スルトキハ本川ニ於ケル總水力地點數八其ノ馬力數二、九九〇ヲ算ス

水力地點ノ説明 順位一、〇一六 右岸ニ取入レ主トシテ開渠ニ依ル。用水ハ約四三町歩ノ水田ニ對シ約七個ヲ分與スルノ要アル

千代川水力地點表

順位ニ( )ヲ附セルハ許可地點ノ關係アリ 落差ニ\*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	面積	發電率	年平均馬力數	等級
(一〇一六)	千代川	一	鳥取縣八頭郡山形村郷原	同市八頭郡智頭町市ノ瀬井出口通	濁水 六九 低水 一〇二 平水 一四三	*一〇〇	七六六	二五五〇	七三	一〇〇・〇	七六六	乙
一〇一七	同	二	鳥取縣八頭郡智頭町市ノ瀬井出口通	同市八頭郡智頭町新海道	濁水 一三一 低水 一九五 平水 二七二	*八〇	一、一六三	二〇〇〇	一、三六二	一〇〇・〇	一、一六三	乙
一〇一八	同	三	鳥取縣八頭郡用ヶ瀬村川崎崎	同市八頭郡佐貫村八日市	濁水 二〇〇 低水 三〇八 平水 四三八	九二	二、〇四二	二、一三〇	三、三九二	一〇〇・〇	二、〇四二	乙

モ水力ニ利用シ得ヘキ流量ハ流域一方里ニ對シ順位二六〇測水所ノ流量ヲ以テスレハ是等用水ニハ何等影響ナキモノト認ム(山陽水力電氣株式會社ニ許可)

順位一、〇一七 新見川合流點ノ下流ヲ利用セントスルモノニシテ右岸ニ取入レ開渠延長約一七二〇間、隧道延長約二八〇間ヲ開整ス。灌漑用水ハ右岸ニ二箇所(二七町歩)左岸ニ二箇所(二一町歩)アリ利用ニ際シテハ是等用水ニ合計約八個ノ水量ヲ分與スルモノトス但シ利用水量ニ關シテハ前地點ニ準スヘキモノトス

順位一、〇一八 佐治川合流點ノ下流ヲ利用セントスル

モノニシテ左岸ニ取入レ全部開渠ニ依ル。用水ノ關係ハ右岸側ニ於テ二箇所、五五個ヲ引水シテ八〇町歩ノ水田ヲ灌漑シ左岸側ニ於テ二箇所、三八個ヲ引水シテ六二町歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアリ利用ノ際ハ前者ヲ一二個、後者ヲ九個以内ニ限定分與スルモノトシ河川流量ハ順位二六〇測水所ニ於ケル流量ニヨリ査定シ之ヨリ前記用水量ヲ差引キタルモノヲ以テ使用水量トセリ

以上三地點ニハ流水行ハルモ少量ナルヲ以テ主トシテ

陸送セシメ得ヘク地形概ネ平易ナルヲ以テ工事亦容易ナ  
ラトス

### 第三節 八東川

一、河川狀況 本川ハ上流ヲ吉川川ト稱シ源ヲ沖ノ山ノ  
東麓ニ發シテ池田村地方ヲ北ニ向ヒ岩屋堂ニ於テ水山ニ  
發シテ西流スル落折川ト合流シテ八東川ヲ形成シ西北ニ  
向ヒ扇ノ山ニ發源スル來見野川ヲ容レ若櫻町ヲ過キ丹比  
村ニ至リテ右岸ヨリ細見川ヲ合セ西北西ニ轉シ扇ノ山ヨ  
リ來ル私都川ヲ右岸ニ合シテ後直チニ千代川ニ合ス。此  
ノ流路約九里、流域面積二六四六方里トス

落折川ハ其ノ沿川ニ多少ノ耕地ヲ有シ流勢稍緩ナルモ  
吉川川ハ深溪ニシテ急流ナリ何レモ流域狹小ニシテ一溪  
流ニ過キサレハ水力利用ニ堪ヘス

岩屋堂ヨリ下流流量多キ部分ニ於テハ谷開ケ岸低ク兩岸  
ノ山勢緩ニシテ屈曲少ケレトモ河床勾配ハ平均八四分ノ  
一ナルヲ以テ茲ニ地點ヲ選定セリ。河床ハ上流部概ネ岩  
盤ニシテ若櫻町以下ハ玉砂利ナリ然レトモ丹比村ヲ過ク  
レハ全ク緩流トナリ河幅廣ク河床ニ砂礫ヲ堆積シ變化甚

水力利用範圍内ニ於ケル河川勾配ハ左ノ如シ

自岩屋堂 至若櫻 (四、〇八〇間) 七〇分ノ一  
自若櫻 至德丸 (五、二八〇間) 一〇〇分ノ一

兩岸ノ地盤ハ概ネ良好ニシテ出水ニ際シテハ洪水位低  
ク河床ノ移動變化スルコト至テ寡シ。而シテ流量ノ變化  
ニアリテハ直接之カ調査ヲ行ハサリシヲ以テ其ノ詳細ヲ  
知ル能ハサルモ千代川ニ於ケル變化ト略同様ナルモノト  
認ム

二、水利及治水 若櫻町ヨリ上流ニ於テハ耕地比較的少  
ク灌溉用水ハ岩屋堂以下一二箇所、此ノ反別約八〇町ニ過  
キサレトモ丹比村地内ニ於テハ七箇所、此ノ反別二四四町  
ニ及ヒ毎年五月ヨリ九月ニ至ル間ニ於テ本川ノ流水ヲ引  
用ス。而シテ漁業、舟楫、悪水、治水事業等ノ關係ナシ

三、水力地點 選定水力地點數二、其ノ馬力數ハ左表ノ通  
ニシテ許可水力地點ナン  
水力地點ノ説明

順位一、〇一九 左岸ニ取入レ開渠延長約一、八五〇間、隧  
道延長約七〇〇間ヲ開鑿ス。用水ハ右岸側ニ於テ三箇所、  
約一〇個ヲ引水シテ一〇町五反歩ノ水田ヲ灌溉シ左岸側  
ニ於テ四箇所約一七個ヲ引水シテ一七町五反ノ水田ヲ灌

八東川 水力地點表 水量ニキチ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	流域面積	能發電	馬力數	年平均	等級
一〇一九	八東川	四	鳥取縣八頭郡池田村 岩屋堂	同 郡若櫻町 若櫻 樺ヶ谷	洪水* 五四 低水* 八一 平水* 一一三	二三五	一、四〇九	二五五〇	五六四	一〇〇〇	一、七〇三	一、七〇三	甲
一〇一〇	同	五	鳥取縣八頭郡丹比村 用呂	同 郡丹比村 德丸 竹市	洪水* 九六 低水* 一五七 平水* 二二二	二〇〇	五、一五〇	三〇〇〇	一三二〇	一〇〇〇	一、三三三	一、三三三	甲

遊覽地モアリ本地點ノ利用ニ際シテハ前者ヲ二個、後者  
三箇以内ニ限定シ分水スルモノトス

順位一、〇二〇 大呂ノ右岸ニ取入レ開渠約二六三〇間、  
隧道約四〇〇間ヲ開鑿ス

用水ハ右岸側ニ於テ四箇所約六〇個ヲ引用シテ一〇四  
町四反ノ水田ヲ灌溉シ左岸側ニ於テ三箇所約四四個ヲ引  
用シテ同シク九二町歩ヲ灌溉スルモノアリ利用ノ際ハ前  
者ヲ一六個後者ヲ一四個以内ニ限定分與スルモノトシ河  
川流量ヲ順位二六〇測水所ニ於ケル流量ニヨリ査定シ之  
ヨリ前記用水量ヲ差引キタルヲ以テ利用水量トセリ

以上二地點トモ其ノ沿岸ニ國道開通セルヲ以テ諸種ノ  
運搬容易ニ且地形平易ナルヲ以テ工事ニ甚シキ困難ナキ

モノト認ム

### 第四節 來見野川

一、流域 地形 本川ハ八東川ノ中流ニ於テ右岸ヨリ流  
入スル支流ニシテ其ノ流域ハ若櫻町ノ東部ニアリテ東西  
ニ長ク面積二三八方里ヲ占ム。最下流部ニ於テハ其ノ高  
サ海拔二〇〇米ニ過キササルモ東北ニ至ルニ從ヒ其ノ高サ  
ヲ増加シ但馬國境扇ノ山ニ至リテ一三〇〇米ニ達ス、此ノ  
間若干ノ耕地ヲ有スルモ其ノ他ハ兩岸ノ山勢急峻ナリ  
地質 下流部左岸ニ於テハ古生層第三紀層閃綠岩等ノ  
占ムル所ナルモ其ノ他ハ主トシテ火山岩ヨリ成ル  
林野狀態 流域内諸所ニ草山ヲ認ムレトモ一般ニ潤葉

樹林ニシテ上流部ニアリテハ約一方里ノ官林ヲ有シ樵橋等繁リ良好ナル水源ヲナス中流以下ニ於テハ多少亂伐セラレ松、栗等ノ混生林ヲナセルモ諸所ニ杉、檜ノ植林行ハレ著シク不良ナラス

二、河川状況 水源ヲ扇ノ山ニ發シテ西南ニ流レ諸鹿ニ於テ南方陣鉢山ヨリ來ル小流ヲ合セ來見野ヨリ南ニ轉シテ八東川ニ合ス。此ノ流路約四里トス

諸鹿ヨリ上流ニ於テハ數多ノ瀑布ヲ成シ河狀極メテ急流ヲナセルモ流量乏シク水力利用ニ堪ヘス諸鹿ニテ小支流ヲ合セテ稍流量ヲ増加シ一時緩流スルモ須臾ニシテ急流トナリ以下來見野ニ至ル間ハ流下勾配ニ四分ノ一ナリ來見野ヨリ下流ハ稍勾配ヲ減シ赤松、内町附近ノ小耕地ニ

來見野川 水力地點表

水量ニ\*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
一〇二二	來見野川	六	鳥取縣八頭郡若櫻町 來見野 芳原	同 郡丹比村 用品	湯水* 一六 低水* 二三 平水* 三二	五六八	一四五〇 二〇一八	一九〇〇	一六二	一〇〇〇 九六二	一〇〇九 一三九五	甲

一三〇間ヲ開鑿シ八東川ニ放流スルモノニシテ貯水池若ハ調整池ハ取入口附近ニ於テ設置シ得ヘキ餘地アリ。瀧

既用水ハ約一六町歩ニ對スルモノアルモ其ノ取入口ハ多ク下流ニ存スルヲ以テ中間ニ合流スル溪流ヲ以テ充分ナ

ルヘシ

### 第十章 天神川水系

#### 第一節 概説

地形 本流域ハ伯耆國東伯郡ノ大部ニ互リテ菱形ヲナシ其ノ一角ハ北方ニ向ヒ南方ノ二邊ハ美作國境連嶺、北方ノ二邊ハ其ノ支脈ヲ以テ圍繞セラレ面積三三方里ヲ占ム。

本川上流ハ竹田川、小鴨川ノ二ニ分タレ其ノ内竹田川ハ流域ノ南境ニ立テ津黒山、人形山等ニ發シテ北ニ流レ東境三國山ヨリ來ル三朝川ヲ合シテ倉吉町ノ東方ニ至ル。小鴨川ハ其ノ西境ヲ占ムル大山、火山及西南ヲ限レル蛭山連嶺ニ發スル諸流ヲ合スルモノニシテ東流シテ裾野ニ出テ倉吉町ノ西北ヲ擁流シ竹田川ト合シテ天神川ヲ形成シ北流日本海ニ注ク。流域ノ大部ハ山地ニ屬スレトモ竹田川支流三朝川ノ水源部ヲ除クノ外山勢一般ニ急ナラス

地質 小鴨川流域ノ全部及三朝川流域ノ東半ハ火山岩ニシテ他ハ概ネ花崗岩ニ屬ス

林野狀態 一般ニ潤葉樹林最多ク針潤混生樹林之ニ次キ原野裸地ハ中流ヨリ下流部ニ多シ、水源ハ全部潤葉自然

接シツツ合流點ニ至ルモノニシテ此ノ間勾配平均四四分ノ一ナリ諸鹿附近ハ稍開濶ナルモ其ノ他ハ概ネ深溪ヲナシ岸壁高ク急峻ニシテ河床概ネ岩盤ヨリ成ル

本川ニハ測水所ヲ設定セサリシヲ以テ流量ノ變化ハ之ヲ詳ニセス

三、水利及治水 本川下流部ニハ多少耕地展開セルタメ之ニ引用スル小用水少カラズ、而シテ流木其ノ他ノ關係ナシ

四、水力地點 選定水力地點數一、其ノ馬力數ハ左表ノ通

ニシテ許可水力地點ナシ

水力地點ノ説明

地目面積表

河川名	地目		山林		合計
	耕地	原野	針葉樹林	潤葉樹林	
竹田川 (八東川用水以上)	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率
三朝川 (竹田川合流點以上)	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率

林ニシテ就中三朝川流域ニ於ケル山林ハ概ネ官林ニ屬シ古木鬱蒼トシテ繁茂シ森林狀態最良好ナリ、竹田川流域ニアリテハ民有林多ク其ノ狀態前者ニ比シ稍良好ナラスト

氣象狀態 雨量ハ下流倉吉町附近ニ於テ一、七七〇耗ヲ保チ山間部ニ至ルニ從ヒ漸次ニ増加シ三朝川ニ於テ一、九〇〇耗竹田川ニ於テ二、三〇〇耗内外ニ達ス、而シテ氣温ハ山間部ニ於テ平均一四度内外ナリ

#### 第二節 竹田川、三朝川

一、河川狀況 竹田川ハ上流ヲ下畑川ト稱シ水源ヲ津黒山ニ發シテ竹田村地方ヲ北ニ向ヒ若杉山ノ東面ニ發スル